

臨床実習入門

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田顕也

臨床実習入門

4年生

令和5年10月23日(月)～令和5年11月2日(木)

9日間：90時間

(予定)

- (1) 10月23日(月) 共用試験について
医療面接講義：コミュニケーション概論、医療面接の実際、評価法
医師の守秘義務(講義)、カルテの書き方と臨床倫理(講義)、処方箋の書き方(講義)
- (2) 10月24日(火) 医療安全(講義)、院内感染(講義)
救急処置・心肺・蘇生法：救急時のバイタルと心肺蘇生
- (3) 10月25日(水) 感染対策(N95マスク、鼻咽頭ぬぐい液採取)
身体診察法Ⅰ：頭・頸部(眼底、鼓膜を含む)
- (4) 10月26日(木) 医療面接ロールプレイ
身体診察法Ⅱ：胸部(心音・呼吸音、乳房を含む)
- (5) 10月27日(金) 小児の身体診察(講義)、行動科学(講義)
身体診察法Ⅲ：腹部(直腸診、前立腺診、婦人科診、導尿を含む)
- (6) 10月30日(月) SPによる医療面接ロールプレイ
身体診察法Ⅳ：神経診察、四肢と脊柱
- (7) 10月31日(火) 医学研究の倫理(講義)
身体診察法Ⅴ：バイタル
- (8) 11月1日(水) 基本的臨床手技Ⅰ：創傷治癒と管理、基本的手術操作、採血
- (9) 11月2日(木) SPによる医療面接ロールプレイ
基本的臨床手技Ⅱ：消毒と無菌操作、手洗い・ガウンテクニック、採血

学生のグループ：10グループ、各9名(男/女が1以上となるよう配分)

担当教室：内科学1、内科学2、内科学3、循環器内科学、血液内科学、脳神経内科学、腎臓内科学
神経精神医学、小児科学、救急・集中治療医学、外科学1、外科学2、脳神経外科学
整形外科、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、泌尿器科学、歯科口腔外科学
皮膚科学、リハビリテーション医学、麻酔科学、放射線医学、リウマチ・膠原病科学、形成外科学
感染制御部、医療安全推進部、臨床研究センター、教養・医学教育大講座(法学)
教育研究開発センター

※各日程の内容はR5年4月1日時点のものであり、変更の可能性がある。

臨床実習入門前に別途スケジュールを配付する。

臨床実習入門は、実習扱いとする。正当な理由による届けがなく欠席したものは履修したものと認めない。

客観的臨床技能試験
(共用試験臨床実習前OSCE)

日時：令和5年11月8日（水）、11月9日（木）、11月10日（金）

場所：高度医療人育成センター（予定）

内容は当日、発表

統括責任者：医学部長

実施責任者：教育研究開発センター センター長

担当教員等：学内教官および学外評価者

試験の合否判定は医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）の定める到達基準による。到達基準に満たなかった場合には再試験を実施する。再試験においても到達基準に満たない場合は臨床実習に進めない。

1 基盤的資質		2 医師としての本質的資質		3 コミュニケーション能力		4 医学的知識								5 医学の実践								6 医学的(科学的)探究				7 社会貢献															
卒業時コンピテンンス	問題解決型能力	情報技術	語学能力	倫理観	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	ITなどの利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動
	レベルC	レベルE	レベルE	レベルC	レベルA	レベルA	レベルA	レベルA	レベルF	レベルC	レベルC	レベルC	レベルC	レベルA	レベルC	レベルE	レベルE	レベルB	レベルB	レベルB	レベルA	レベルC	レベルB	レベルB	レベルB	レベルC	レベルA	レベルB	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	
	臨床実習入門																																								